

# SKYDRIVE

「空飛ぶクルマ」の開発について

2019.2.7



株式会社SkyDrive 代表取締役 福澤 知浩

# Company Profile

- 会社名 株式会社SkyDrive
- 設立 2018/7
- 代表取締役 福澤 知浩
- 事業内容 空飛ぶクルマの開発/設計/製造/販売/輸出入 ほか
- 所在地 東京都新宿区
- メンバー 20名程

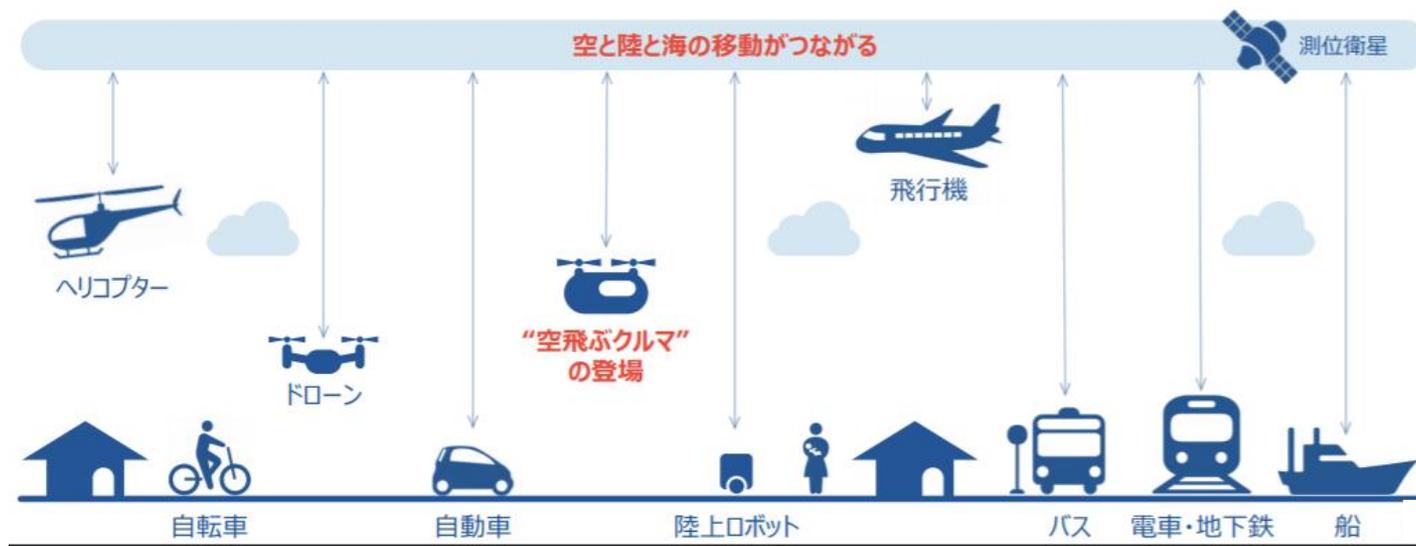


# Company Purpose

## Mission

### 誰もが空を飛べる時代をつくる

地上は混雑とストレス、空はイノベーションが起きておらずガラガラ。  
私達の移動は、もっと快適になるのではないのでしょうか？  
SkyDriveは、「新しい移動の高度（道）」を開拓し、  
誰もが空を飛べる時代をつくる事をミッションとします。



イラスト出典：経産省

# Problem

## 現状の移動（地上・空）の問題

インフラ

- **道路/線路の構築**が大変（地上）
- **直線での移動**は制限（地上）  
※直線距離の約2倍遠回り。（車は）信号 & 渋滞・（列車は）駅まで移動 & 乗り換えにより、（ノンストップで移動した場合の）2~3倍時間がかかる
- **免許管理/免許取得**が大変（空）



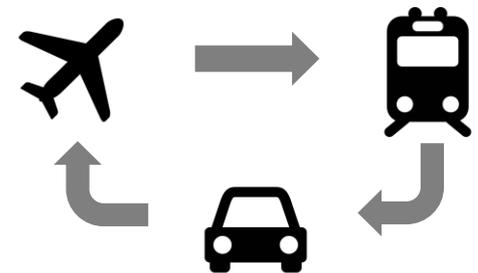
機体

- **機体コスト・維持費**が高い（航空機）
- **操作**が難しい（航空機）
- **環境**に悪い（化石燃料等）



サービス

- **Door to Doorでの移動**は制限  
※但し配車App等で向上中
- **乗換/トランジット**が必要
- **待ち時間**が長い

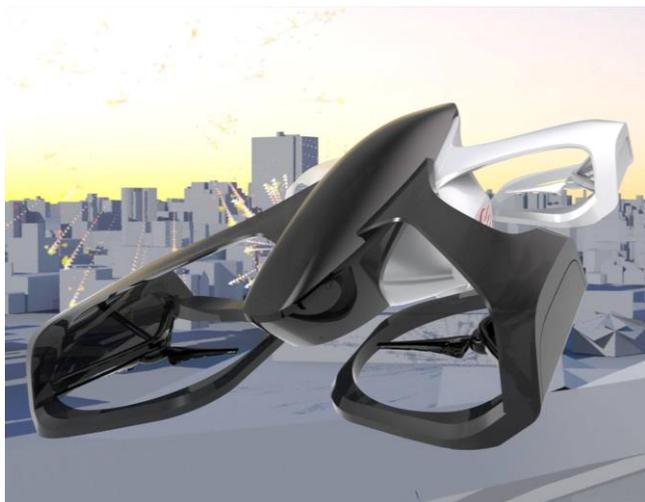


# Solution & Value

## SkyDriveが提供する価値

---

1. 垂直離着陸型モデル
2. 自動車同等のコンパクトサイズ
3. 飛ぶだけでなく地上走行も可能



- インフラ整備が簡素/簡潔
- 電動化&量産化で低コスト
- 簡単な運転/自動運転により利用しやすい
- 点から点への移動による短時間の移動が可能に
- 環境に優しい

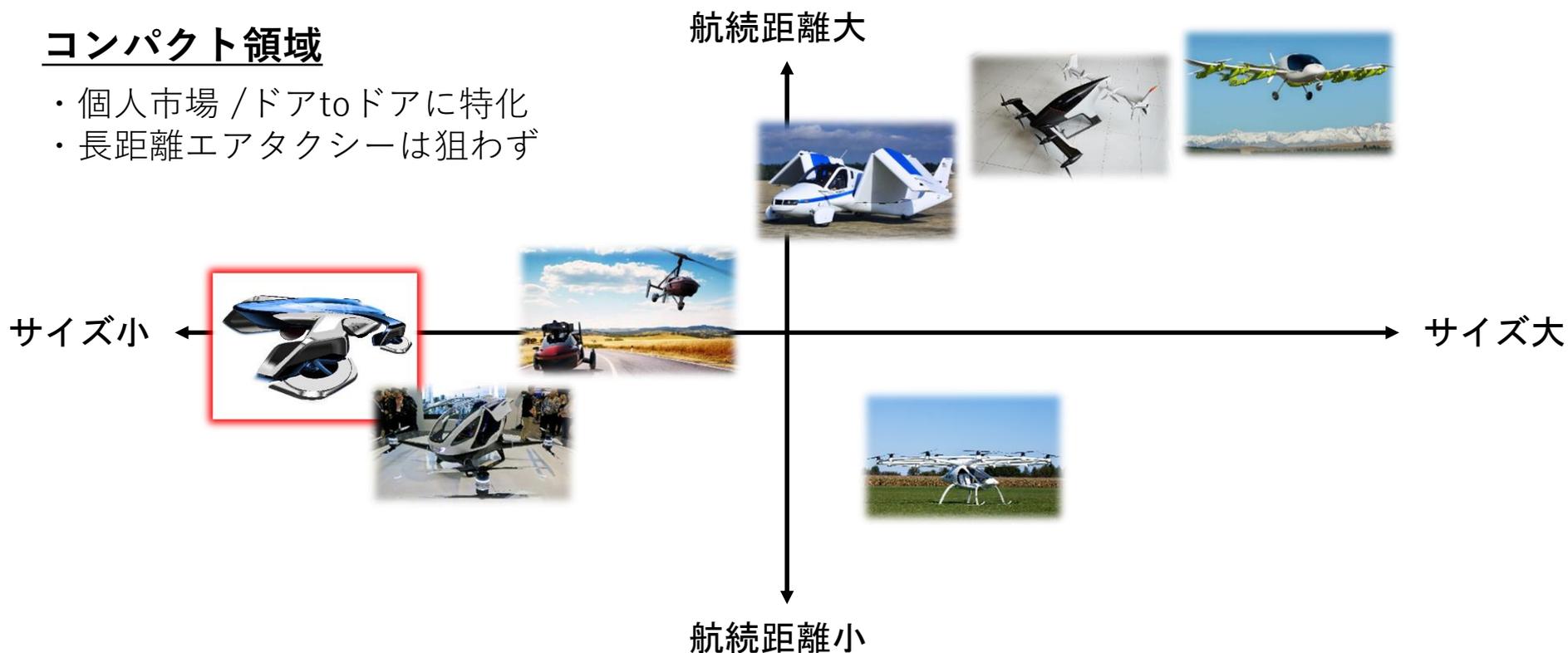
# Solution & Value

他の空飛ぶクルマとの位置づけ

世界最小かつ走行する「空飛ぶクルマ」

## コンパクト領域

- ・ 個人市場 / ドアtoドアに特化
- ・ 長距離エアタクシーは狙わず



SD-01



Test field1



Garage



Test field2

# 屋外飛行試験開始

「空飛ぶクルマ」\*として、無人形態での日本初となる屋外飛行試験を開始

\*eVTOL機(垂直離着陸機)

→ 設計検証試験等を行いながら多くの技術課題を克服し、  
有人飛行(屋内)に繋げる



# Business / Development Strategy



- 無人機の開発／事業化（認証・販売）を行うことで、最短ルートで安全性の高い有人機の開発／事業化を実現する

# UseCase：様々な用途での利活用を想定



救命救急



エンターテイメント



エアタクシー



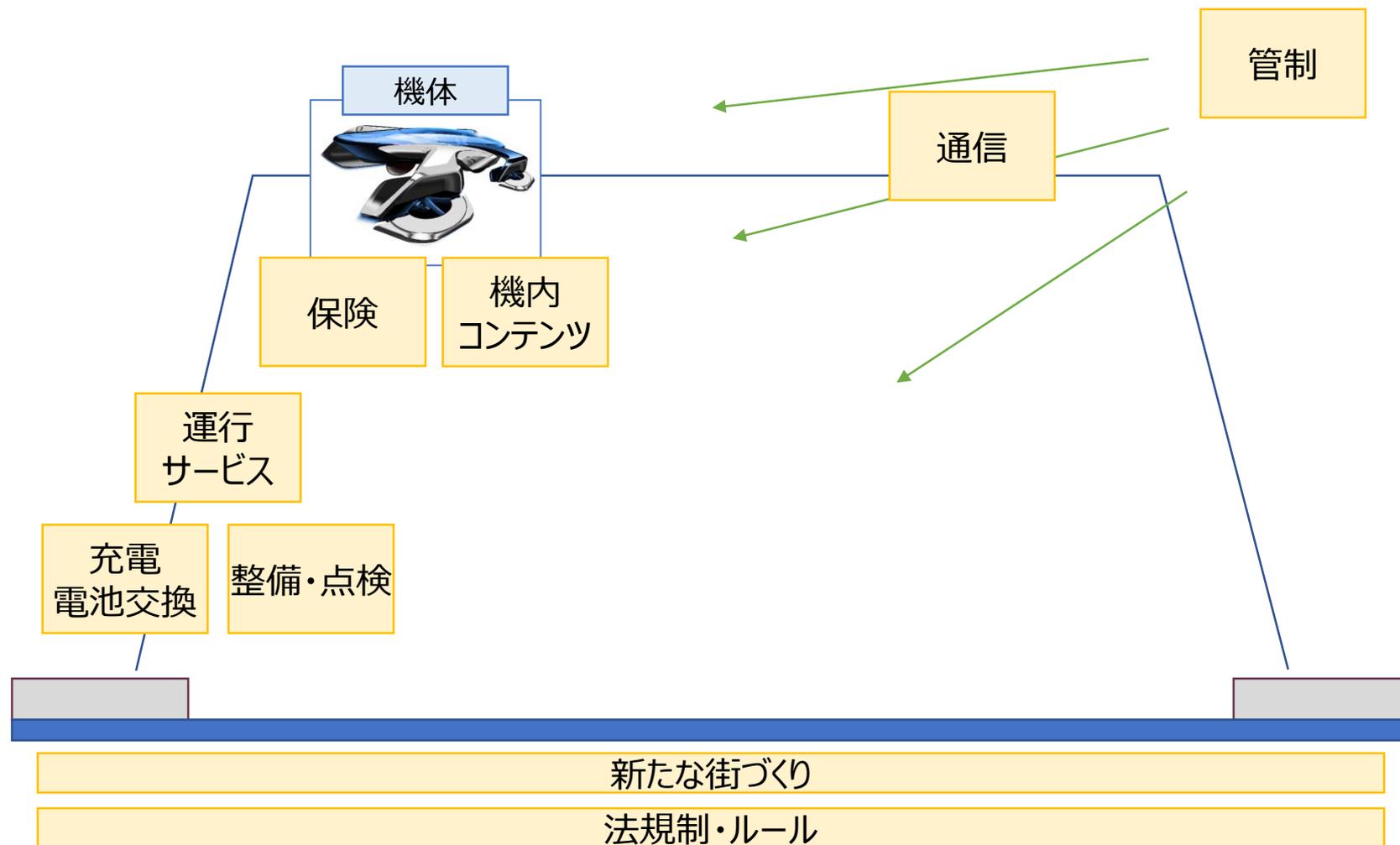
建設・測量



物流

# 空飛ぶクルマ実現に向けて必要な周辺要素

機体以外にもインフラ・サービスなど、様々な周辺要素が必要となる。



# 空飛ぶクルマ実現に向けてSkyDriveが果たす役割

機体開発を主軸としながら、同じ志を保有するパートナーとの協業を通して、新たな社会・産業を創造するためのプラットフォームの役割を果たす。

## 誰もが空を飛べる時代の実現



# SKYDRIVE

機体開発を主軸とした**新たな未来・新たな産業創造**

- 部品
- 開発協力



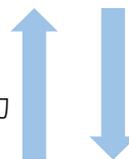
- 部品購入
- 試験等データ提供

- 法規制
- 実証場所提供



- 便利で持続可能な社会

- 資金
- 開発協力



- 事業収益
- 投資利益

### 技術パートナー

技術開発  
部品供給

### 国・地方公共団体

ルール作り  
実証試験支援  
補助金

### 事業パートナー

事業開発  
資金供給